



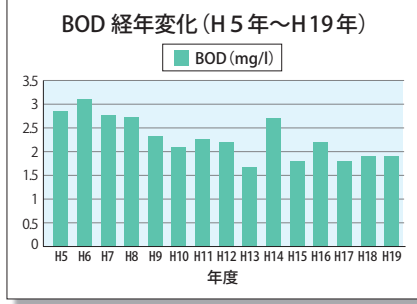
みんなで作ろう 肝属川の水環境 6月は「環境月間」です

6月5日は、国連が定めた「世界環境デー」です。この日は、日本でも「環境の日」と定められ、6月を「環境月間」としています。そこで、私たちの生活の一部として親しまれている肝属川の水環境について考えてみませんか。

BODとは、河川の汚れを表す指標です。数値が低いほどきれいな川であり、高いほど汚れているといえます。

めやす

BOD 値	生息できる魚
BOD 1以下	ヤマメ・イワナ
BOD 3以下	サケ・アユ
BOD 5以下	コイ・フナ

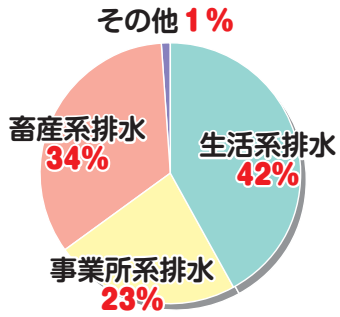


●**肝属川の水環境の現状**
市では、河川の定期採水を行い、水質を常時監視しています。

肝属川の水環境は、浄化槽の普及、公共下水道の整備、市民の皆さんの肝属川に対する環境保全の努力の結果、以前よりも水質は改善されていますが、九州の一級河川の水質ランキングでもワーストランクの上位に入ることもあるなど、不名誉な状況にあります。

●**肝属川の汚れの原因**

店舗や工場から排出される事業所系排水、畜産施設からの畜産系排水、一般家庭から発生する生活系排水の流入が肝属川の汚れの主な原因となっています。肝属川の汚れの原因の約42%は、私たちの日ごころの生活から出る生活系排水です。



生活系排水とは、洗濯の洗い水、揚げ物等をした後に出る廃食油や流し台から出る洗剤などがあります。この中でも、川に流れたときに汚れの大きな原因になるのが廃食油です。廃食油は、肝属川の水質やそこに生息する生物にとって大敵です。流し台は、川につながっていることを認識し、絶対に廃食油を流さないようにしましょう。

肝属川は、その源を高隈山系御岳（標高1,132m）に発し、鹿屋市を貫流して、始良川、高山川、串良川等を合わせて肝属平野を流下し、志布志湾に注ぐ、幹線流路延長34km、流域面積485km²の日本最南端の一級河川です。

また、肝属川流域は、湿度が高く温暖であるため、非常に生態系が豊かで、オイカワやタカハヤ、ヤマセミ、ゴマグサ、カナビキソウなど、およそ2,700種類もの動植物が生息しています。

心のふるさととして安らぎを持てる肝属川を次世代に残すために、今できることに取り組んでみましょう。

【問い合わせ】
市生活環境課
☎0994-31-1115

●**廃食油の回収にご協力ください**

市では、水環境を守るため、市内25か所に廃食油ポストを設置しています。ぜひ、ご利用ください。※廃食油ポストの設置箇所は、市ホームページをご覧ください。市ホームページをご覧ください。



廃食油ポスト

●**環境出前講座を行って**

市では、身近な環境問題についての出前講座を行っています。講座は少人数のグループでも開講しますので、「環境月間」を機会に、ぜひ、ご利用ください。※利用方法など、詳しくはお問い合わせください。

【出前講座メニュー】

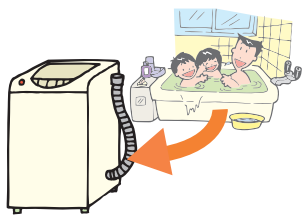
- 肝属川の水環境について
- 廃食油石けんについて
- ウミガメについて
- 地球温暖化と酸性雨について

●**私たちにできること**

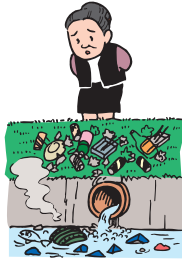
○お皿についた少量の油汚れはふき取ってから洗いましょう。それ以外の廃食油は、廃食油ポストへのリサイクルを心がけましょう。もし、持ち込めないときは、古紙に吸わせるなどして、燃やせるごみに出しましょう。



○お風呂の残り湯などは洗濯水になるべく活用しましょう。洗濯物を洗うときは、適量の洗剤を使いましょう。



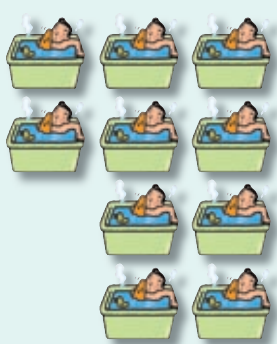
○川を汚さないために、ごみのポイ捨てや不法投棄等は絶対やめましょう。



●**環境クイズ**

問 廃食油が大きい1杯(10ml)川に流れたら魚が住めるようになるために、どのくらいの水が必要なの？

答 3,000ℓ (約お風呂10杯分)



問 市では、回収した廃食油を、どのようなものにリサイクルしているのでしょうか？

答 廃食油石けん



肝属川に生息するいきもの

オイカワ
全長約150mm。背中が灰青色、体側から腹側は銀白色で、体側に淡いピンクの横斑が数本入るのが特徴です。

タカハヤ
全長約100mm。体色は黄褐色又は灰褐色で、背面は濃くはつきりとなるものが多いのが特徴です。

ニホンアカガエル
体長約60mm。体色は、鮮やかなだいたい色をしており、水にはあまり入らないのが特徴です。

メダカ
全長約40mm。体色はこげ茶がかかった灰色で、メダカの種類であるクロメダカは絶滅の恐れがあります。